

令和4年度第1回 豊能町立図書館協議会 会議報告

1	会議の名称	令和4年度第1回 豊能町立図書館協議会
2	開催日時	令和4年6月28日(火) 15時00分～16時30分
3	開催場所	豊能町立図書館 集会室
4	事務局	生涯学習課 図書館
5	出席者	<p>委員</p> <p>石塚 謙二委員 金井 理枝子委員 田中 未知委員 西村 はるみ委員 張 裕太郎委員 藪田 昇太郎委員 (欠席委員なし)</p>
	事務局	<p>生涯学習課長 寺倉 義浩 図書館長 藤木 裕美 図書館再任用主査 南 正好 図書館主事 梅田 建都</p>
6	会議の次第	<p>1. 図書館長挨拶</p> <p>2. 人事異動報告・図書館職員紹介</p> <p>3. 議題</p> <p>1) 会長・副会長の選出</p> <p>2) 報告事項</p> <p>①令和3年度事業報告について</p> <p>3) 協議事項</p> <p>①令和4年度予算・運営について</p> <p>②公共施設再編について</p> <p>4. 連絡事項</p>
7	審議等の要点	別紙のとおり

令和4年度第1回 豊能町立図書館協議会 要点
(令和4年6月28日(火)開催)

開 会 (図書館長挨拶)

新型コロナウイルスの影響による協議会開催の中止により、令和3年度に報告できなかった各種連絡事項を共有。

議 事

①会長、副会長選出

前年に引き続き、会長は藪田委員、副会長は田中委員に決定した。

②令和3年度事業報告

事務局 (事務局より説明)

図書館の運営実績の報告。また、令和3年度より試行を終えて開始している、箕面市との図書館相互利用について実績を基に利用状況と活動の内容を報告。同じく8月に開始したバリアフリーサービスの報告のほか、図書館主催の諸事業の内容を報告。

委 員

箕面市との図書館相互利用について、豊能町の住民からすれば新たに利用できるようになった箕面市立図書館が遠方にあり利用しづらい一方、箕面森町の住民は近距離にある豊能町立図書館を利用できるようになる。豊能町側のメリットが少なくはないか。

事務局

委員ご指摘のとおり豊能町民の箕面市立図書館利用数は僅少であるが、令和4年3月からは箕面市電子図書館が利用できるように取り計らっていただいている。豊能町では経費上の問題から電子図書館の導入と維持管理が難しいため、図書館の非来館サービスが実現する形でメリットとなっていると考える。

③令和4年度予算と図書館運営について

予算内訳の報告と説明。特に図書資料費の削減を受け、住民サービスの低下が懸念される旨を共有。豊能町教育基本方針にも記載の今年度の図書館運営目標について、目標に対応した図書館事業と計画を説明。新規案や意見を募った。

④公共施設再編について

事務局 (事務局より説明)

豊能町の財政状況が悪化している中、町内の各種公共施設は老朽化が進んでおり、建て替えを含めた維持費を試算したところ、年間で約9億円という数字が計上された。類似施設の統合や複数施設の集約化、あるいは設備の転用・多目的利用といった対策をとる必要がある。

公共施設の一つである図書館の協議会員の方々にも具体案を策定する前に意見を伺いたい。

委員

公共施設の転用については全国に様々な事例があったはず。小学校跡地を宿泊可の道の駅とした事例を記憶しているが、それらは参考にできないか。

事務局

小学校跡地の対策をとらねばならないが、法律により跡地の利用には用途の制限が課される。そのまま参考にできるかは調査を要するが、ご意見のとおり他自治体の事例を参考にしていきたい。

委員

能勢町では「グローバル教育」と称して、留学生の受け入れと農作業などの体験学習を行っていると聞く。豊能町も比較的都会から近い田舎として、観光だけでなく教育などといった多方面から地域振興を考えることが重要であると考えているが、どうか。

事務局

再編計画については議会にも議題として挙がる予定。いただいた意見を課内で共有し、検討を進めたいと思う。